

創刊号

住吉母子医療センター情報誌

きらり



創刊号は…

★はじめて！ **きらり** です！

★小児科医に聞く「母乳の神秘」

★小児病棟 わくわくるーむ OPEN

★知って役立つ 小児科マメ知識！

★生殖医療センター&レディース病棟開設

★産後ケア事業に参加します

はじめまして きらり です！

平成30年4月1日、「大阪府市共同 住吉母子医療センター」がオープンしました。この住吉母子医療センター内には、『お母さんや赤ちゃんを対象とした産科病棟』『お子さんを対象とした小児科病棟』『高度な手術室』などがあり、総合病院に併設されている強みを生かして、さまざまな症例に対応できる地域周産期母子医療センターを目指しております。

「きらり」は住吉母子医療センターや大阪急性期・総合医療センターの情報をお届けする情報誌です。イベント情報や子育てに関するフシギ、健康のためのまめ知識など、健康に役立つ身近な話題や医療に関する情報を取り上げ、皆さまの生活に寄り添う情報誌を目指してまいります。



母乳育児の神秘 ～プロローグ～

ヒトは母乳であかちゃんを育てる哺乳類です。

あかちゃんは、出生直後から本能的に乳首を探り当て吸いつを開始し、4~5ヶ月間は、お母さんにしがみついていられるよう把握反射が残ります。

一方、お母さんの中でも内分泌学的な変化により乳房・乳腺は発達し母乳分泌に備えますが、上手な抱っこや乳首の含ませ方、どのくらい飲ませたらよいか、乳管・乳房がどのように変化するのか、乳汁分泌を維持するにはどうしたらよいか等は、初めての場合、見聞きしなければ解りません。

わたしたちは、お母さんに十分な情報を提供し、寄り添い、相談にのり、一緒に考え、可能な限り母乳育児を応援します。もちろん、様々な理由によって母乳を十分に与えられない場合もありますが、その場合は、代替品や授乳方法の支援等あらゆるサポートを検討します。

母乳育児が応援されるべき神祕的とも言えるその理由・根拠について、栄養学・免疫学的、精神発達面、児の健康面、母の健康面、母子関係への影響から、毎号、解説します。



マニュライフ

わくわくるーむオープン!

マニュライフ生命保険株式会社様及び特定非営利活動法人子ども健康フォーラム様のご協力をいただき、小児科病棟内に療養中の子どもたちのためのプレイルーム『マニュライフわくわくるーむ』がオープンしました。

異なる年齢の子どもたちが共に過ごせるよう工夫をこらした、「癒しの森」をテーマにしたプレイルームです。施設内には、一般社団法人OSAKAあかるクラブ様及び国際ソロプロミスト大阪-中央様から寄付などのご協力を頂いた様々なおもちゃも置かれています。療養中も他の子どもたちと関わり合いながら、楽しく遊べる場にしたいと考えています。



小児科マメ知識 !?

今、RSウイルス感染症が流行しています！

RSウイルスはおとなや子どもでも、感染して症状がでます。おとなや年長児では軽い風邪症状で治りますが、1~2歳までにかかると細気管支炎や肺炎など症状が重くなり、入院治療が必要になることがあります。

心臓病や低出生体重の子どもさんは重症化しやすいのでより注意が必要です。

今のところワクチンや特効薬はありません。また、家族の中で伝播することが多いと言われています。熱、咳、鼻水があって呼吸がしんどそうな時は医療機関を受診しましょう。これから季節、体調を整え、手洗いやうがいをしっかりすることが大切です。



NEWS

生殖医療センター&レディース病棟開設

10月1日、中央館5階西側に体外受精等の不妊治療を行う生殖医療センターがオープンし、同時に5階西病棟が女性専用のレディース病棟としてリニューアルオープンしました。

生殖医療センターは、総合病院内にある強みを活かして他科とも連携の上、卵からゆりかごまで、さらにそれ以降もトータルにお役にたてる医療を提供していきます。またレディース病棟内にあり、プライバシーも確保された配置となっています。

「病気があるけど妊娠しても大丈夫かな?」「不妊治療ってどんな内容か聞いてみたいけど治療費が高いのかな?」など、悩んでおられましたら下記お問い合わせ先までお気軽にご相談ください。



中央館5階西

大阪市の産後ケア事業に参加しました!!

産後ケア事業とは、退院直後に支援が必要な母子を対象にショートステイやデイケアの利用を通じて、母子同室で助産師や看護師等から、からだとこころ・育児のサポートを得られる事業で、当センターも平成30年10月1日より参加しました。

●心身のケア

母親の健康管理や産後の生活のアドバイスなど

●育児のサポート

沐浴などの育児技術の指導など

※入院とは異なりますので、育児や身の回りのことはできる限りご自身で行っていただきますのでご了承ください。
※詳しくは、お住まいの地域の区保健福祉センターへご確認ください。

患者のみなさまへ

・初めてご来院の方は紹介状(診療情報提供書)をご持参ください

・事前予約のおすすめ

地域の医療機関(紹介元)から、当センターの地域医療連携室に

依頼していただければ、事前に診察や検査の予約(地域予約)が可能です。

詳しくは、「医療相談」コールセンターまでお問い合わせください。

・初診時保険外併用療養費について

やむを得ず紹介状なく受診される場合は、通常の診療費とは別に、

初診時保険外併用療養費 5,400円(税込み)をお支払いいただきます。

お問い合わせ: 06-6692-1201(代表) 月~金 9時~16時30分

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪急性期・総合医療センター
大阪府市共同 住吉母子医療センター